

平成27年第2回定例会

人口減少対策調査特別委員会 提出資料（4）

4 地域への理解と愛着を育むキャリア教育について

- (1) 高校生のまちづくり・地域づくりへの参画状況（教育委員会） 1
- (2) 県外進学者の就職時のUターンの状況（雇用経済部）
- (3) 県外進学者の県内就職への働きかけ（雇用経済部） 4
- (4) 人口減少と学校の統廃合（教育委員会） 5

平成27年6月25日

教 育 委 員 会

雇 用 経 済 部

(1) 高校生のまちづくり・地域づくりへの参画状況

教育委員会

1 参画の趣旨

生産年齢人口の減少やグローバル化の進展等により、社会構造や雇用環境が大きく変化することが予測される中、子どもたちが希望を持って主体的に自己の未来を切り拓くためには、学校での学びと自己の将来との関係に意義を見出し、学ぶ意欲を高め、今学んでいることを将来の社会生活や職業生活で活用できるようになることが必要です。

そこで、県教育委員会では、子どもたちにこれらの力を身に付けさせるためにキャリア教育を推進しており、その中では、地域でのさまざまな体験的な活動を通じて子どもたちに学習への動機付けを図るとともに、コミュニケーション能力の向上や企画力の育成などに取り組んでいます。

これらの取組は、まちの活性化にも貢献できるものであることから、「地域に根ざした高等学校づくり」につながると考えています。

2 参画の方法

以下の方法を組み合わせるなどして、高校生のまちづくり・地域づくりへの参画に取り組んでいます。

(1) 学校独自の取組

(2) 『志』と『匠』の育成推進事業」や「県立学校協創活動支援事業」など県教育委員会の事業を活用した取組

(3) 経済団体や自治体など地域と連携した取組

(4) 大学など上級学校と連携した取組

3 具体的な参画例

(1) 学校独自の取組

- ・ 白子高等学校では、地域の民生委員と連携し、一人暮らしの高齢者を対象に、季節の献立を盛り込んだ「お弁当サービス」を実施しています。
- ・ 津商業高等学校では、地元商店街と連携して開発した商品の高校生による直接販売や、商店の経営コンセプトに合ったWebページを設計してその効果を分析するなど、実践的な電子商取引の研究に取り組んでいます。
- ・ 紀南高等学校では、書道部による丸山千枚田オーナー会員の立札製作や、生徒会による地元警察との協働による交通安全啓発活動などの取組を通じて、コミュニティ・スクールの特性を生かしたまちづくりに関わる教育活動を行っています。

(2) 『志』と『匠』の育成推進事業」や「県立学校協創活動支援事業」など県教育委員会の事業を活用した取組

- ・ 四日市農芸高等学校では、防災グッズの開発や地域住民を対象とした救急法の講習を実施するなど、学校と地元河原田地区の防災についての研究に取り組んでいます。
- ・ 南伊勢高等学校では、「地域に残りたい若者が地域に残れる仕組みをビジネスとして創る」ことを目指して、地域ビジネス創出プロジェクト（SBP）を立ち上げました。SBPでは、南伊勢町と連携し地元生産者の協力を得て、高校生が選んだ地元商品の詰め合わせ「セレクトギフト」の物産展等での販売に取り組んでいます。この「セレクトギフト」は、ふるさと納税のお返しとしても活用されています。

(3) 経済団体や自治体など地域と連携した取組

- ・ 桑名工業高等学校では、桑名商工会議所や地域の企業の協力を得て、学校での専門的な学習と企業での実習を組み合わせた日本版デュアルシステムに取り組んでおり、希望する生徒が年間を通じて毎週1日、企業で実習を行っています。
- ・ 四日市商業高等学校では、菰野町の活性化に向けた実践研究として、菰野町や湯の山温泉女将の会と連携し、菰野町に関する観光客を対象としたマーケティング調査と分析、ゆるキャラや特産品を用いた商品開発等の企画提案に取り組んでいます。

また、四日市市や商店街連合会と連携して「キッズビジネスタウンみえ（高校生の管理運営のもと小学校3年生～6年生を対象に、仕事選び、仕事体験、納税までの一連の経済活動を体験するプログラム）」の運営に取り組んでいます。

- ・ あけぼの学園高等学校では、校内に高校生美容室「Akebono hair」を開設してコミュニケーション能力の向上や接客のノウハウの習得に取り組んでおり、地域住民から好評を得ています。

また、地域の企業等と連携して地元産の菜種油を用いたシャンプーとトリートメントを開発することにより、菜種油の販路拡大に取り組んでいます。

- ・ 相可高等学校では、多気町と連携して多気町ふるさと村で高校生レストラン「まごの店」と「まごの店スイーツ」の運営に取り組んでおり、地元はもとより全国から来客を受け入れて、地域の活性化に貢献しています。
- ・ 明野高等学校では、地域の地元企業と連携して、地元特産物ひじきを使った商品開発に取り組んでいます。また、地域の祭りなどでの農産物販売や、食育の一環として、地元幼稚園と連携した味噌作りに取り組んでいます。

また、外宮参道ボランティアに参加して、全国から伊勢を訪れる観光客に「伊勢」を案内しています。

(4) 大学など上級学校と連携した取組

- ・ 昴学園高等学校では、慶應義塾大学を中心に高知県立大学や三重大学と連携し、生徒がまちづくりにおける課題発見解決思考と当事者意識を持つことを目指して、「まちばな（実在するまちづくりリーダーの疑似体験プログラム）」に取り組んでいます。
- ・ 尾鷲高等学校では、昨年度は慶應義塾大学、今年度は三重大学と連携し、県と尾鷲市、紀北町による人材育成事業「尾鷲高校まちいく」を行っています。この事業では、フィールドワークやグループディスカッションを通じて地域の現状や地域資源についての理解を深め、そこから見えてきた課題の解決策や活性化案を発表するなど、地域貢献に参加するきっかけづくりに取り組んでいます。

(2) 県外進学者の就職時のUターンの状況

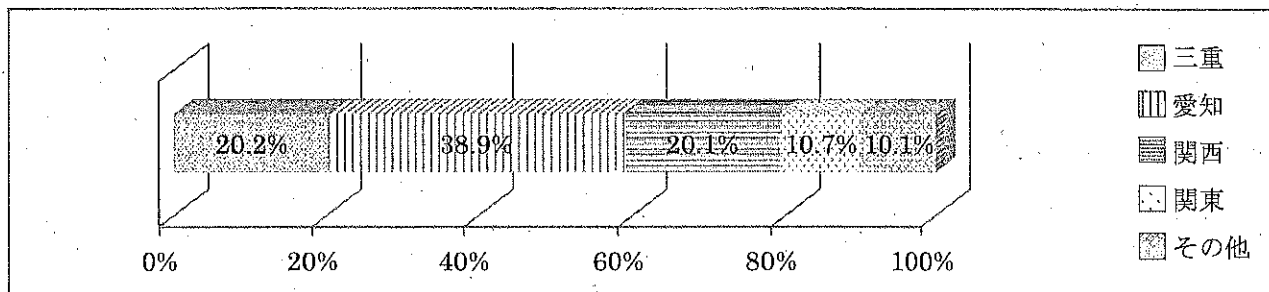
(3) 県外進学者の県内就職への働きかけ

雇用経済部

1 現状と課題

平成 26 年度学校基本調査をもとにした集計結果によれば、県外の大学へ進学した県内の高校生は、約 8 割に上っており、このうち、約 4 割が愛知県内、約 2 割が関西 2 府 4 県内、約 1 割が関東 1 都 6 県内の大学に進学しています。

こうした県外の大学への進学者の就職先に関する調査は行われていないため、県外進学者のUターン状況を把握することはできないのが現状です。



2 平成 27 年度の取組

(1) U・Iターン相談の実施

県外で開催される大学でのUターン就職説明会や企業合同説明会に参加して就職相談を行い、U・Iターン就職を支援します。

また、今年度東京に設置した「ええとこやんか 三重移住相談センター」において、就職相談アドバイザーによる相談を行うとともに、関西事務所を活用した出張相談を行います。

(2) U・Iターン就職セミナー等の開催

「三重テラス」や「ええとこやんか 三重移住相談センター」をはじめ、東京、大阪、京都及び県内において、県内企業も参加し、U・Iターン就職セミナーを開催します。

また、県内において、大学生等の保護者を対象とした就職セミナーや若者就職支援関係者を対象とした研修会を開催します。

(3) 大学との情報交換等

就職相談アドバイザー等が県外の大学の就職担当課を訪問し、U・Iターンセミナーの開催等の情報を提供したり、学生の状況に関する情報を収集したりしながら情報交換を行います。

(4) 人口減少と学校の統廃合

教育委員会

1 公立小中学校の統廃合の状況について

(1) 児童生徒数の推移(資料1)

平成18年5月1日現在の県内の公立小学校の児童数は108,132人でしたが、平成27年5月1日現在では96,501人と、11,631人減っています。

また、平成18年5月1日現在の県内の公立中学校の生徒数は51,657人でしたが、平成27年5月1日現在では49,716人と、1,941人減っています。

(2) 学校の統廃合の状況(資料1及び2)

平成18年度の小学校数は、休校を除くと417校(分校3校含む)でしたが、平成27年度は375校(分校3校含む)と、42校減っています。

また、平成18年度の中学校数は、休校を除くと170校(分校2校含む)でしたが、平成27年度は158校(分校3校含む)と、12校減っています。

そのうち、統廃合によるものは資料2のとおりで、94校の小中学校が42校に統合されました。

(3) 統廃合に対する国の考え方

文部科学省は、平成27年1月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を策定しました。

この手引きでは、小中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、地域のコミュニティの核としての性格を有することから、統廃合については保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得ながら丁寧な議論を行い、ICTの導入など魅力ある学校づくりにつながっていくよう設置者である市町が検討していくこととされています。

(4) 県の取組

文部科学省の調査によると、平成26年5月1日現在、県内で学校の規模等の独自基準を定めているのは7自治体、検討しているのは4自治体、定めていないのは18自治体となっています。

このような中、県教育委員会としては、県内全体の学校教育の充実発展に責任を持つ立場から、市町のニーズや実情を踏まえた適切な指導・助言・援助を行う必要があります。

(参考) 少子化に対応した活力ある学校づくりに活用可能な支援策

①施設・設備・スクールバス等

- ・へき地児童生徒援助費等補助金（スクールバス購入費や通学費 国 1/2）
- ・公立学校施設整備事業（公立学校施設整備 新增築:国 1/2、大規模改造:国 1/3）

②教職員等配置の充実

- ・教員定数の加配措置（統合校等への加配措置 国 1/3、又は県単）
- ・臨時講師・非常勤講師の加配措置（複式学級解消、免許教科外担当解消等 県単）

③教育の質の向上

- ・少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業（委託）
- ・人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業（委託）

等

資料1 公立学校の児童生徒数、公立小中学校数

資料2 三重県内公立小中学校統廃合一覧表（平成18年度～平成27年度）

2 中学校卒業者数の減少と県立高等学校の適正規模・適正配置

(1) 中学校卒業者数及び県立高等学校全日制募集定員の推移（資料3）

県内の中学校卒業者数は平成元年3月の29,994人をピークに減少傾向にあり、平成17年3月には2万人を割って19,302人に、平成27年3月にはさらに減少して、17,797人となっています。

これに伴い、県立高等学校全日制募集定員も平成元年度の21,415人から、平成17年度は14,025人、平成27年度には12,600人となりました。

(2) 少子化等に対応した取組

県教育委員会では、少子化に対応して生徒に魅力ある教育環境を整備するため、「県立高等学校再編活性化基本計画」（平成13年5月）を策定するとともに、具体的な実施内容を示す第一次から第三次の「実施計画」を策定して、県立高等学校の適正規模・適正配置を推進してきました。また、少子化の進行する地域に、学識経験者、地域の保護者、教育関係者等で構成される「協議会」を設置し、高等学校の活性化方策等の検討を行ってきました。

これらの計画を引継ぎ、県立高等学校が、これからも生徒にとって希望や高い志を持っていきいきと学ぶことができる場であるとともに、地域から信頼される存在であり続けられるよう、平成25年3月に「県立高等学校活性化計画」を策定し、各学校が特色を活かして今後さらに活性化していくための方策を示し、取組を進めています。

また、中学校卒業者数の大幅な減少が続くと予測されている伊勢志摩、伊賀、紀南の3地域に、引き続き「協議会」を設置して、地域の意見を聴きながら取組を進めています。

(3) 県立高等学校の統廃合等とそれに伴う教育環境の整備

最近10年間の県内各地域の中学校卒業生数の推移と、地域の協議会でまとめられた内容に基づき実施した県立高等学校の統廃合等は資料4・資料5のとおりです。

資料4 三重県 中学校卒業生数の推移と予測

資料5 県立高等学校(全日制)の学級数(第1学年)・統廃合等

平成18年度は全日制の高等学校数は61校(分校4校含む)でしたが、統廃合等に伴い、平成27年度は55校(分校1校含む)となっています。平成28年度には、名張桔梗丘高等学校と名張西高等学校が統合して名張青峰高等学校が開校するため、全日制の高等学校数は54校(分校1校含む)となる予定です。

これまで、教育委員会では、高等学校の統廃合等に伴い設置される学校で学ぶ生徒の教育環境の充実をはかるため、次のような施設設備の整備を行ってきたところです。

ア 伊賀白鳳高等学校(平成21年度に上野商業高等学校・上野工業高等学校・上野農業高等学校を統合)

- ・普通教室の増築
- ・実習棟の建築

イ 相可高等学校(平成22年度に宮川高等学校・相可高等学校を統合)

- ・実習棟増築

ウ 名張青峰高等学校(平成28年度に名張桔梗丘高等学校、名張西高等学校を統合)

- ・校舎の改修
- ・ICT環境(一人一台タブレットパソコン)の整備

1. 公立学校の児童生徒数(学校基本調査による)

(単位:人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	108,132	107,457	107,277	106,491	104,964	103,158	101,211	99,580	98,056	96,501
中学校	51,657	51,646	51,218	51,213	50,820	51,282	50,949	50,852	50,022	49,716
高等学校	45,329	43,978	43,338	42,962	43,010	42,397	42,271	41,780	42,074	41,692
全日制(本科)	40,783	39,646	39,025	38,597	38,793	38,297	38,104	37,506	37,734	37,435
全日制(専攻科)	92	87	96	101	98	104	111	100	99	102
定時制	1,979	2,027	1,996	1,997	1,887	1,837	1,860	1,931	1,947	1,889
通信制	2,475	2,218	2,221	2,267	2,232	2,159	2,196	2,243	2,294	2,266
特別支援学校	1,140	1,218	1,240	1,284	1,340	1,387	1,440	1,495	1,554	1,552
盲学校	31	32	35	37	43	35	26	25	32	34
聾学校	100	100	89	93	89	95	94	98	105	98
旧養護学校	1,009	1,086	1,116	1,154	1,208	1,257	1,320	1,372	1,417	1,420
合計	206,258	204,299	203,073	201,950	200,134	198,224	195,871	193,707	191,706	189,461

H27は速報値

2. 公立小中学校数(休校を除く)

市町	平成18年4月1日				平成27年4月1日				増減	
	小学校		中学校		小学校		中学校		小学校	中学校
	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校・分校	本校・分校
津市	57	2	20	2	51	2	20	2	△ 6	
四日市市	40		22		38		22		△ 2	
伊勢市	24		12		24		12			
松阪市	40		12		36		12		△ 4	
桑名市	28		9		27	1	9	1		1
鈴鹿市	30		10		30		10			
名張市	18		5		14		5		△ 4	
尾鷲市	8		3		7		2		△ 1	△ 1
亀山市	11		3		11		3			
鳥羽市	12		6		9		5		△ 3	△ 1
熊野市	13		8		9		7		△ 4	△ 1
いなべ市	15		4		15		4			
志摩市	20	1	11		17		7		△ 4	△ 4
伊賀市	26		12		22		10		△ 4	△ 2
木曾岬町	1		1		1		1			
東員町	6		2		6		2			
菟野町	5		2		5		2			
朝日町	1		1		1		1			
川越町	2		1		2		1			
多気町	5		2		5		2			
明和町	6		1		6		1			
大台町	4		3		4		2			△ 1
玉城町	4		1		4		1			
度会町	4		1		1		1		△ 3	
大紀町	5		4		4		2		△ 1	△ 2
南伊勢町	8		3		3		2		△ 5	△ 1
紀北町	11		4		11		4			
御浜町	4		3		4		3			
紀宝町	6		2		5		2		△ 1	
合計	414	3	168	2	372	3	155	3	△ 42	△ 12

※学校組合は多気町に含みます。

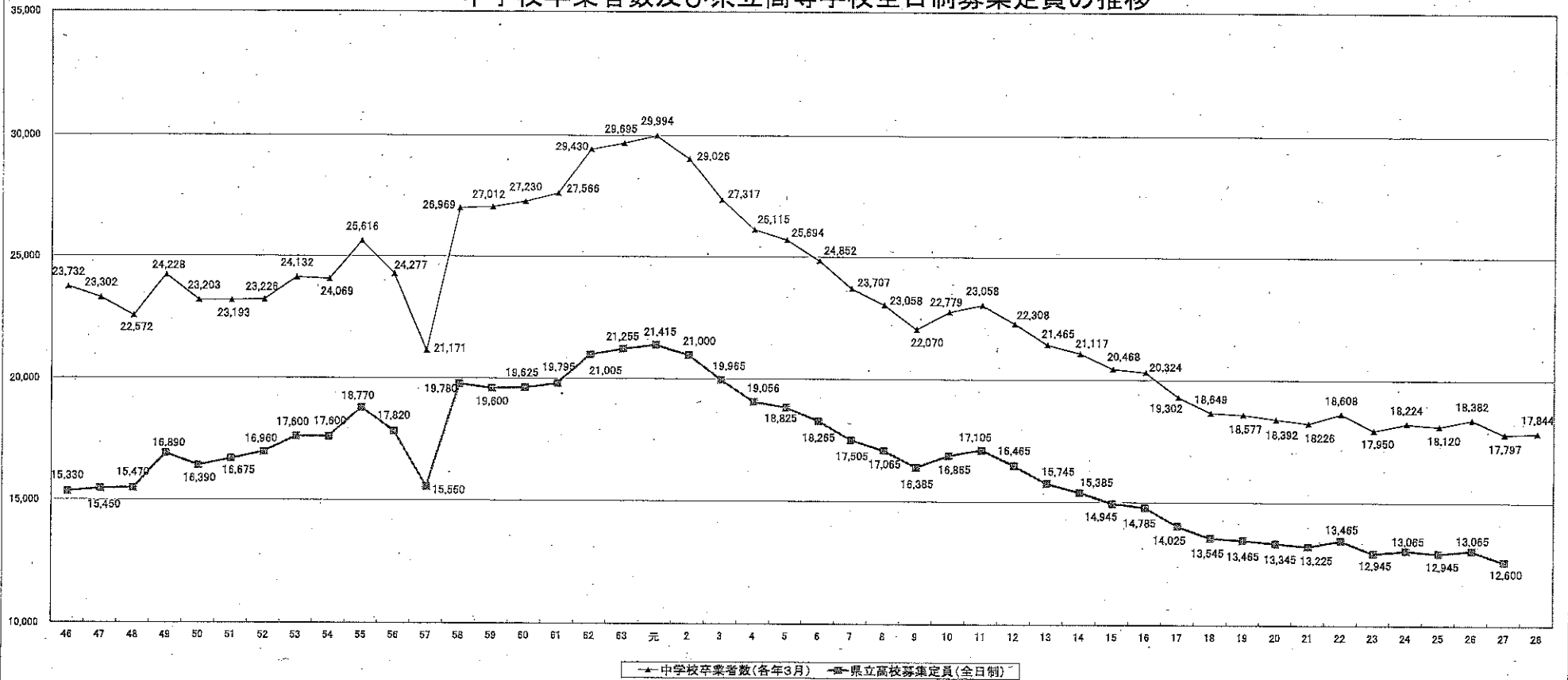
三重県内公立小中学校統廃合一覧表（平成18年度～平成27年度）

平成27年4月1日現在

統合等年月日	設置者名	統合校	統合関連校	関連校数	区分
平成18年4月1日 （平成17年度）	なし	—	—	—	—
平成19年4月1日 （平成18年度）	南伊勢町	南島西小学校（旧吉津小）	吉津小学校（名称変更）、島津小学校（廃校）、東小学校（廃校）	3	名称変更
平成20年4月1日 （平成19年度）	松阪市	香肌小学校（旧森小）	森小学校（名称変更）、波瀬小学校（休校）、川俣小学校（休校）	3	名称変更
	名張市	比奈知小学校	比奈知小学校、長瀬小学校（廃校）	2	吸収
	度会町	度会小学校（旧内城田小）	内城田小学校、中川小学校、一之瀬小学校、小川郷小学校（以上廃校）	4	新設
平成21年4月1日 （平成20年度）	津市	美杉小学校（旧美杉南小）	美杉東小学校、美杉南小学校（以上廃校）	2	新設
	鳥羽市	鳥羽小学校	鳥羽小学校、小浜小学校（廃校）、坂手小学校（休校）	3	吸収
	伊賀市	城東中学校（新設）	桃青中学校、府中学校（以上廃校）	2	新設※
	大紀町	大紀小学校（旧大内山小）	柏崎小学校、大内山小学校（以上廃校）	2	新設
	大紀町	大紀中学校（旧柏崎小）	柏崎中学校、錦中学校、大内山中学校（以上廃校）	3	新設
平成21年11月1日	いなべ市	員弁西小学校	員弁西小学校、員弁西小学校市之原分校（廃校）	2	吸収
平成22年4月1日 （平成21年度）	津市	美杉小学校	美杉小学校、太郎生小学校（廃校）	2	吸収
	熊野市	飛鳥小学校（旧日進小）	日進小学校、小阪小学校、飛鳥小学校（以上廃校）	3	新設
	志摩市	浜島小学校（新設）	浜島小学校、追塩小学校（以上廃校）	2	新設※
	多気町	勢和小学校	勢和小学校、丹生小学校（廃校）	2	吸収
平成23年4月1日 （平成22年度）	桑名市	多度青葉小学校（旧多度南小）	多度南小学校、多度西小学校（以上廃校）	2	新設
	鳥羽市	弘道小学校	弘道小学校、国崎小学校（廃校）	2	吸収
	紀宝町	成川小学校	成川小学校、浅里小学校（廃校）	2	吸収
	紀宝町	矢淵中学校	矢淵中学校、矢淵中学校浅里分校（廃校）	2	吸収
平成24年4月1日 （平成23年度）	津市	芸濃小学校（旧椋本小）	椋本小学校、雲林院小学校、安西小学校（以上廃校）	3	新設
	鳥羽市	鳥羽小学校	鳥羽小学校、坂手小学校（廃校）	2	吸収
	伊賀市	上野南中学校（新設）	丸山中学校、成和中学校（廃校）	2	新設※
平成25年4月1日 （平成24年度）	四日市市	橋北小学校（旧西橋北小）	東橋北小学校、西橋北小学校（以上廃校）	2	新設
	志摩市	大王中学校（旧波切中）	波切中学校、船越中学校（以上廃校）	2	新設
	志摩市	波切小学校	波切小学校、波切小学校名田分校（廃校）	2	吸収
	志摩市	文岡中学校	文岡中学校、的矢中学校（廃校）	2	吸収
平成26年4月1日 （平成25年度）	津市	一志西小学校（旧高岡小）	大井小学校、波瀬小学校、高岡小学校（以上廃校）	3	新設
	津市	一志東小学校（旧川合小）	川合小学校（廃校）	2	新設
	鳥羽市	鳥羽東中学校	鳥羽東中学校、鏡浦中学校（廃校）	2	吸収
	名張市	比奈知小学校	比奈知小学校、滝之原小学校（廃校）	2	吸収
	名張市	錦生赤目小学校（旧赤目小）	赤目小学校（名称変更）、錦生小学校（廃校）	2	名称変更
	名張市	つつじが丘小学校	つつじが丘小学校、国津小学校（廃校）	2	吸収
	志摩市	波切小学校	波切小学校、畔名小学校（廃校）	2	吸収
	志摩市	志摩中学校（旧和具中）	片田中学校、和具中学校、越賀中学校（以上廃校）	3	新設
	南伊勢町	南勢小学校（旧五ヶ所小）	五ヶ所小学校、穂原小学校、宿田曾小学校、南海小学校（以上廃校）	4	新設
	南伊勢町	南島中学校（旧南島中）	南島中学校、南島西中学校（以上廃校）	2	新設
	四日市市	塩浜小学校（旧塩浜小）	塩浜小学校、三浜小学校（以上廃校）	2	新設
平成27年4月1日 （平成26年度）	大台町	大台中学校	大台中学校、協和中学校（廃校）	2	吸収
	伊賀市	三訪小学校（旧三田小）	三田小学校、丸柱小学校（諏訪地区）（以上廃校）	2	新設
	伊賀市	成和西小学校（旧花之木小）	花之木小学校、花垣小学校（以上廃校）	2	新設
	伊賀市	成和東小学校（旧猪田小）	猪田小学校、古山小学校（以上廃校）	2	新設
	伊賀市	阿山小学校（旧河合小）	丸柱小学校（丸柱・音羽地区）、河合小学校（以上廃校）	2	新設
合計	16 設置者	42 校	94 校		

※新築

中学校卒業生数及び県立高等学校全日制募集定員の推移



三重県 中学校卒業生数の推移と予測

平成27年5月1日 教育政策課

地域		卒業年度	H 18.3 卒業	H 19.3 卒業	H 20.3 卒業	H 21.3 卒業	H 22.3 卒業	H 23.3 卒業	H 24.3 卒業	H 25.3 卒業	H 26.3 卒業	H 27.3 卒業	H 28.3 卒業(予測)
桑名	卒業生数		2,153	2,202	2,260	2,153	2,229	2,160	2,164	2,129	2,252	2,203	2,131
	前年度対比			49	58	-107	76	-69	4	-35	123	-49	-72
	H18.3対比			49	107	0	76	7	11	-24	99	50	-22
四日市	卒業生数		3,677	3,786	3,697	3,796	3,762	3,753	3,751	3,922	3,925	3,786	3,851
	前年度対比			109	-89	99	-34	-9	-2	171	3	-139	65
	H18.3対比			109	20	119	85	76	74	245	248	109	174
北部小計	卒業生数		5,830	5,988	5,957	5,949	5,991	5,913	5,915	6,051	6,177	5,989	5,982
	前年度対比			158	-31	-8	42	-78	2	136	126	-188	-7
	H18.3対比			158	127	119	161	83	85	221	347	159	152
鈴鹿	卒業生数		2,385	2,243	2,241	2,419	2,456	2,360	2,508	2,473	2,657	2,573	2,646
	前年度対比			-142	-2	178	37	-96	148	-35	184	-84	73
	H18.3対比			-142	-144	34	71	-25	123	88	272	188	261
津	卒業生数		2,895	2,909	2,874	2,777	2,987	2,775	2,889	2,777	2,808	2,758	2,691
	前年度対比			14	-35	-97	210	-212	114	31	-50	-67	
	H18.3対比			14	-21	-118	92	-120	-6	-118	-87	-137	-204
伊賀	卒業生数		1,854	1,917	1,794	1,724	1,742	1,673	1,643	1,607	1,627	1,496	1,597
	前年度対比			63	-123	-70	18	-69	-30	-36	20	-131	101
	H18.3対比			63	-60	-130	-112	-181	-211	-247	-227	-358	-257
中部小計	卒業生数		7,134	7,069	6,909	6,920	7,185	6,808	7,040	6,857	7,092	6,827	6,934
	前年度対比			-65	-160	11	265	-377	232	-183	235	-265	107
	H18.3対比			-65	-225	-214	51	-326	-94	-277	-42	-307	-200
松阪	卒業生数		2,080	2,071	2,093	2,013	1,962	1,962	1,977	2,066	2,025	1,982	2,009
	前年度対比			-9	22	-80	-51	0	15	89	-41	-43	27
	H18.3対比			-9	13	-67	-118	-118	-103	-14	-55	-98	-71
伊勢	卒業生数		2,777	2,675	2,695	2,555	2,704	2,508	2,558	2,452	2,398	2,319	2,278
	前年度対比			-102	20	-140	149	-196	50	-106	-54	-79	-41
	H18.3対比			-102	-82	-222	-73	-269	-219	-325	-379	-458	-499
尾鷲	卒業生数		400	381	350	367	371	360	355	328	309	340	289
	前年度対比			-19	-31	17	4	-11	-5	-27	-19	31	-51
	H18.3対比			-19	-50	-33	-29	-40	-45	-72	-91	-60	-111
熊野	卒業生数		428	393	388	422	395	399	379	366	381	340	352
	前年度対比			-35	-5	34	-27	4	-20	-13	15	-41	12
	H18.3対比			-35	-40	-6	-33	-29	-49	-62	-47	-88	-76
南部小計	卒業生数		5,685	5,520	5,526	5,357	5,432	5,229	5,269	5,212	5,113	4,981	4,928
	前年度対比			-165	6	-169	75	-203	40	-57	-99	-132	-53
	H18.3対比			-165	-159	-328	-253	-456	-416	-473	-572	-704	-757
県内合計	卒業生数		18,649	18,577	18,392	18,226	18,608	17,950	18,224	18,120	18,382	17,797	17,844
	前年度対比			-72	-185	-166	382	-658	274	-104	262	-585	47
	H18.3対比			-72	-257	-423	-41	-699	-425	-529	-267	-852	-805

県立高等学校（全日制）の学級数（第1学年）・統廃合等

平成27年5月1日 教育政策課

学区	年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度(予定)
北部	学級数	110	112	112	112	113	112	112	114	115	111	
	統廃合等											
中部	学級数	132	130	128	127	131	123	125	123	125	120	
	統廃合等				上野商業 上野工業 上野農業 →伊賀白鳳							名張桔梗丘 名張西 →名張青峰
南部	学級数	97	95	94	92	93	89	90	87	87	84	
	統廃合等		南伊勢 南島校舎 募集停止	尾鷲 長島校 募集停止		相可 宮川 →相可						
学級数の合計		339	337	334	331	337	324	327	324	327	315	